

第3学年音楽科学習指導案

日時 平成27年11月6日(金) 4校時

学級 3年A組 男子10名 女子18名 計28名

指導者 教諭 時枝和香

1 題材名 楽曲の特徴を感じ取ってそのよさや美しさを味わって聴こう

2 題材について

(1) 教材について

○題材について

本題材は、「ボレロ」(ラヴェル作曲)、アルルの女第2組曲より「ファランドール」(ビゼー作曲)を教材とした鑑賞の題材である。学習指導要領[第3学年]2内容「B 鑑賞」ア「音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと」[共通事項]ア「音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚しそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受すること」を学習するために設定した。

○教材について

「ファランドール」(ビゼー作曲)

この曲は、力強い「三人の王の行進」と「馬のダンス」という民謡をもとにした軽快な「ファランドール舞曲」の2つの対照的な主題によって構成されている。印象的な旋律で覚えやすく、構成もわかりやすく、短い曲であるので、「ボレロ」を学習する前に曲の構成を理解し、音楽の特徴を聴きとる教材として適していると考えられる。

「ボレロ」(ラヴェル 作曲)

この曲はラヴェルがバレエ音楽として作曲した。ボレロのリズムにのせて2つの主題を展開することなく延々と繰り返すことによって楽曲が構成されている。打楽器で刻まれるボレロのリズムや楽曲全体にわたる強弱の変化、オーケストラの楽器の組み合わせによる多彩な響きを味わうことができる楽曲である。

(2) 生徒について

生徒はこれまで「魔王」「春」「フーガ短調」「交響曲第5番」「レクイエム」などの鑑賞を通し、それぞれの音楽を聴いて感じたことを曲のどんな要素や構造と関わっているかについて考える学習を行ってきた。しかし、学習したときの記述を読むと根拠が曖昧だったり、題名や資料からのイメージだけで感想を書いてしまったりしている生徒も見られた。また、ただ漫然と曲を聴いていて、音楽を形づくっている要素を注意深く聴きとること自体が不得意な生徒も見られる。それは、鑑賞の観点を生徒がはっきり捉えられていなかったということでもある。そこで本題材では、2つの主題が印象的で曲の構成がわかりやすい「ファランドール」を教材にして楽曲を分析することに興味を持たせ、主題の重なり方、音色、リズム、テンポ、強弱という観点を明らかにして鑑賞させたい。次にその学習を生かし「ボレロ」の鑑賞を行い、生徒自身が同じような手立てで曲を分析し、楽曲のよさや美しさを味わって聴くことができるようにさせたい。

(3) 指導について

「ファランドール」では、対照的な2つの主題で構成されていること、主題が現れるたびにその重なり方、音色、リズム、速度、強弱が変化し、それによって聴く人に違う印象を与えることを丁寧に扱う。次の教材「ボレロ」では、延々と主題が繰り返し演奏されるが、「ファランドール」の学習で取り上げた観点について、変化しないもの(主題の重なり、リズム、速度)と変化するもの(音色や響き、強弱)を確認し、変化するものに焦点をあてて注意深く聴かせ、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受させていきたい。また、「ファランドール」でも楽器の違いによる音色の変化を取り上げているので、曲の鑑賞が容易になると考える。鑑賞は主題の展開すべてをとりあげるのではなく、観点について聴き取った中から印象に残った部分を2、3か所選び、この曲の聴きどころとしてメモをさせ、その後グループでの話し合いを通して考えを深め、最後は紹介文の形でまとめさせていきたい。

3 題材の指導目標

- (1) 「ファランドール」「ボレロ」の音楽を形づくっている音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、構成と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組む。
- (2) 「ファランドール」「ボレロ」の音楽を形づくっている音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして音楽のよさや美しさを味わって聴く。

4 題材の評価規準及び指導計画

(1) 評価規準

観点1 音楽への関心・意欲・態度	観点4 鑑賞の能力
①「ファランドール」「ボレロ」の音楽を形づくっている音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、構成と音楽との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	①「ファランドール」の音楽を形づくっている音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 ②「ボレロ」の音楽を形づくっている要素（音色や響き、強弱等）と曲想との関わりを知覚・感受しながら、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

(2) 指導計画

題材全体の学習指導		評価の位置付け	
時	主な学習活動	評価の観点・評価規準、主な評価の対象、方法	
		音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
1	<ul style="list-style-type: none"> 「ファランドール」を聴き、自分が気に入った部分を選び、その理由を、音楽を形づくっている要素と関連付けて書く。 「ファランドール」の聴きどころを考え紹介文を書く。 	≪評価規準①≫ ・学習する内容への関心（観察・記述）	≪評価規準①≫ ・音楽のよさや美しさを味わう能力（観察・発表・記述）
2	<ul style="list-style-type: none"> 「ボレロ」を聴き、自分が気に入った部分を選び、その理由を、音楽を形づくっている要素と関連付けて書く。 	≪評価規準①≫ ・学習する内容への関心（観察・記述）	
3 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 「ボレロ」の聴きどころ（よさや美しさ）についてグループで話し合う。 「ボレロ」の紹介文を書く。 		≪評価規準②≫ ・音楽のよさや美しさを味わう能力（観察・発表・記述）

5 本時の指導

(1) 本時の目標

「ボレロ」の聴きどころ（よさや美しさ）を 音楽を形づくっている要素（音色や響き、強弱）と関連付けて言葉で説明し、紹介文を書くことができる。

(2) 研究とのかかわり

① 教材との対話

「ボレロ」を聴き、自分が気に入った部分を選び、音楽を形づくっている要素と関連付けて、そのよさや美しさを言葉や文章で表現する。（前時）

② 他者との対話

グループで曲の聴きどころについて話し合い、他の生徒の考えを知ったり、自分の考えを他の生徒の考えと比較したりする。（本時）

③ 自己との対話

意見の交流などの活動を通して自分の考えを深め、「ボレロ」のよさや美しさについて根拠を挙げながら文章で表現し、紹介文を書く。（本時）

音楽3

(3) 本時の展開

段階	学習活動	教師の支援と留意点 【対話場面】	形態	評価の観点【】と 方法() 資料等○
導入 (10)	1. 前時までの学習を確認し本時の活動について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 自分がよいと思ったところを付箋に書いているか確認する。 本時の学習活動の流れについて説明する。 	一斉	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 学習課題 「ボレロ」の聴きどころ(よさや美しさ)を音楽を形づくっている要素と関連付けて紹介しよう。 音楽を形づくっている要素: 音色や響き、強弱 </div>				
展開 (35)	2. 曲の聴きどころとその理由について話し合う。	【他者との対話】 <ul style="list-style-type: none"> 各グループにCDラジカセを準備し音楽で確認するよう助言する。 表を準備し、各自が書いた付箋を表に貼りながら整理させる。 	グループ	○CD、ラジカセ ○表 ○マジック ○画用紙
	3. グループで出されたことを発表する。	【他者との対話】 <ul style="list-style-type: none"> 前のグループと重ならないように発表させる。選んだところが同じでも理由が違っていれば別の考えとする。 全グループが発表したら、理由が当てはまらないものがないか考えさせる。 	一斉	
	4. 一番の曲の聴きどころはどこかを協議する。	【他者との対話】 <ul style="list-style-type: none"> グループで聴きどころを一つにしばらせる。 答えを一つに決定するためではなく、協議を通して他者と自分の考えを比較したり自分の考えを再考したりして考えを深めるために行う。 	グループ	
	5. 自分の考えをまとめ、曲の紹介文を書く。	【自己との対話】 <ul style="list-style-type: none"> 紹介文の型を提示する。 取り上げる部分はグループで決めたところでもなくてもよいことを伝え、協議を経た上での自分の考えをまとめさせる。 	個人	【鑑賞の能力②】 「ボレロ」の音楽を形づくっている要素(音色や響き、強弱等)と曲想との関わりを知覚・感受しながら、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 (話し合いの様子・紹介文)
終末 (5)	6. 紹介文を発表し交流を図る。 7. 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> お互いの発表を聞きながら、音色や響き、強弱に対する考えを深めさせる。 板書をもとに教師が本時の学習をまとめる。 	一斉	

